

夢に向かって

教育目標 あたたかく たくましい 心と体を持ち、互いに学び合う児童の育成

長崎市立愛宕小学校

校長 中村 秀一郎

電話 826-6062

コロナ禍を 忘れる心 狼月



今朝の月です。
昨夜、窓の外を眺
めてみると、満月
の美しさに思わず
声が漏れました。
今朝、子供たちを
迎えながら昨夜の
月を思い出し、シ
ャッターを切りま
した。調べてみる

と、1月の満月を「ウルフムーン」と言う
そうです。月の満ち欠けや、日の出の時刻
から、月日が流れていくのを感じます。

昨夜、新型コロナウイルス感染拡大予防
措置の一つとして、長崎県が「まん延防止
等重点措置（長崎市と佐世保市が対象）」
の適用を受けるという報道がありました。
学校の対応については、従前にお知らせし
ていた内容と変わりはありませんが、念に
は念を入れて、より慎重に学校生活を送っ
ていきます。引き続き、御支援・御協力を
よろしくお願いいたします。

また、これまでも感染防止の観点から、
お子様の登校等について慎重な対応をして
いただいていることに感謝し、今後の対応
にも十分な御配慮をよろしくお願いいたします。

感染症への学校対応

学年を超えての交流を可能な限りなく
し、「密」を防ぎ、マスクの着用、換気・
消毒・手洗いを実践します。

「3つの感染症」(【 】内は対応策)

日本赤十字社が提唱し、本校生活指導主
任が全校リモート集会(1/18)で児童に
伝えた内容です。

1 感染症の1つ目 「病気そのもの」

(1)感染者との接触(飛沫・接触)で感染
していく。

【左記、 に取り組む。】

2 感染症の2つ目 「不安と恐れ」

(1)ウイルスが目に見えるものではなく、
「まだよくわかっていない」「薬が世間
に出回っていない」という不安や恐れに
振り回されてしまう。

(2)特定の見える対象を敵とみなして嫌悪
の対象としてしまう。

【気づく力、聴く力、自分を支える力を高
める。】

3 感染症の3つ目 「嫌悪・偏見・差別」

(1)「不安と恐れ」は人が生き延びようと
する本能を刺激し、ウイルス感染にかか
わる人や対象を日常生活から遠ざけ、差
別してしまうことがある。 その結果、

(2)人と人との信頼関係や社会とのつなが
りを壊していることに気づかず、つかの
間の安心感を得てしまう。

【確かな情報を得て差別的な言動に同調せ
ずに、コロナ禍に対応している方に感謝
の気持ちをもつ。】

※本人を含めて御家族がPCR検査の対象
になった場合は、連絡してください。ま
た、お子様や御家族に感染不安がある場
合の登校については御相談ください。